

社団法人 日本経営工学会 第29期 第10回理事会だより

第29期 理事会の第10回会合が平成21年1月30日（金）14:00～18:00、日本大学経済学部3号館4F会議室にて開催され、理事12名、監事1名、オブザーバー1名、事務局1名が出席しました。

議事録署名人の選任について、飯島正樹、松丸正延氏の2名が選任されました。

会員数は平成21年1月30日現在、名誉会員25名、正会員1,505名、学生会員262名、賛助会員30社31口です。

議決事項

1. 第29期第9回理事会議事録・理事会だより報告（庶務）
庶務担当理事から資料に基づき報告がありました。
2. 入退会に関する件について（会員）
会員担当理事から資料に基づき、入退会に関する説明（16名入会、退会7名、結果：正会員2名増、学生会員8名増、名誉会員1名減）がありました。
3. 役員及び代議員選挙について（選挙管理委員長）
現在の会長・理事候補のリストが提示され選挙（信任）方法と今後の日程について確認されました。選考について会員から問い合わせが来た場合、選考委員会が対応することが確認されました。

協議事項

1. 支部経費について（支部）
支部担当理事から資料に基づいて説明があり、財政状況の悪化から入会奨励金の規定については再考することになりました。支部・財務・会員委員で今後検討することになりました。
2. 2009年春の大会記念行事（副会長）
副会長から資料に基づき、5月15日開催される大会記念行事についての説明がありました。シンポジウムおよびパネルディスカッションの開催概要および収支に関して了承されました。
3. 論文誌電子化検討委員会（編集）
論文誌編集担当理事から資料に基づいて状況が説明されました。5月春季大会時に記念出版（バックナンバー）を行いたい旨の提案がなされ、了承されました。記念出版は、60周年の事業の一環として進めることになりました。
4. 研究部会活動の改革（研究）
研究担当理事から資料に基づいて改革案の説明がありました。来年度は従来通り運用することとして、今後細則を定めるよう研究委員会に要請しました。部門制導入に関する日程について、次回の理事会に提案してもらうことになりました。
5. 横幹技術フォーラム「経営の統合に向けての知の統合」（会長）
会長から資料に基づいて説明がありました。これから経営工学会としてどう取り組むかについて、次回の理事会前12:30からワーキンググループで議論することになりました。
6. 学会のHP活用および電子化にむけた取り組み（庶務）
庶務担当理事から資料に基づいて学会のHP活用および電子化にむけた取り組みについての提案がありました。既に、大会の申込みのWEB化は秋季大会より試験的に運用することが大会理事より披露され維持費の問題を検討すべきとの意見が出されました。取り急ぎ、数年に亘るプロジェクトから準備を始める旨了承され、次期の庶務委員会に引継ぎをすることになりました。
7. 経営工学3団体連携事業／行事企画－「技術士」取得説明会（国際渉外・行事）
国際渉外担当理事から資料に基づいて説明がありました。「技術士」取得についての説明会について、メルマガを活用して働きかけることになりました。
8. 「次世代の経済社会に向けた経営工学ビジョン」の策定と発信（国際渉外）
国際渉外担当理事から資料に基づいて説明がありました。JIMA分科会立ち上げについて、副会長がサポートするこ

とになりました。

9. エリアエディタ制導入（編集）

編集担当理事より資料に基づいてエリアエディタ制導入の提案がありました。エリアエディタ制の大枠を了承し、投稿規定変更内容については、関係者間で今後総会に向けてつめることになりました。

報告事項

1. 掲載料・別刷代請求一覧

2. JABEE 委員会報告

3. 2009 年度予算案

内部留保率は 23%であり、公益法人化に向けては 30%以下にすることからクリアしているが、財政的には盤石でない旨の報告がなされました。内部留保率を 28%にするための予算削減案が提案されました。

4. 平成 20 年度日本経営工学会秋季研究大会の収支決算報告の概要が報告されました。

※ 次回第 11 回理事会は 平成 21 年 3 月 20 日（金）国際文献社 江戸川橋会議室にて 14：00－19：00 の予定です。

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印